



榎書記長 集約答弁

社員一人ひとりがその精神や具体的な計画を理解し、実践をしなければ何ら意味を成しません。しかし、現実的には昇格・昇職試験のための参考書みたいな、ミスをした社員をまるで犯罪者のように扱う風土や、失敗から学ぶのではなく、一度のミスも許されない過度な緊張を強いる体質へと変質しつつあります。

JR東日本の社員年齢構成を見れば、先輩社員が持つ高い技術や尊い経験を学ぶ機会が年々失われていきます。安全をつくり、担うのは「人」です。逆に「人」視点や現場視点による安全の確立に向けた取り組みは、会社側ではなく、私たち労働組合にしかできないと言えます。今日まで積み重ねてきた「安全」をつくる過程が形骸化しつつある今、

安全を確保し人命を守るために、会社諸施策の検証や労働条件の向上、職場環境改善に向けた取り組みを私たちが職場から主体的に進める。2014年春闘は組合員の努力でベアを勝ち取ることが出来た。しっかりと総括し、本部指導のもと2014年度年末手当の闘い及び2015春闘に繋げていきたい。今後も、日々安全・安定輸送に取り組む組合員、社員の努力が不可欠であり私たちは要求の満額獲得に向け、全組合員はもとよりJRで働く者の力の結集を呼びかけて闘うとともに、組織強化・拡大を課題に取り組むこととする。本部は、2500名の組織目標掲げている。東京地本も138名から200名への拡大を目指している。議案書の当面する活動方針に組織強化・拡大の取り組みがあるが、組合員全体で拡大に向かって進む。拡大に当たっては、レクリエーションの呼び掛けや他労働組合員に対する世話役活動が重要である。東京地本としても、統一後、組織拡大目指して信頼される職場作りと風通しの良い風土・環境を構築することが重要である。大会終了後各分会と連携を強め組織拡大に向け積極的に取り組み、早期に分会大会を開催し機関整備に取り組んで頂きたい。

- ①3月に分会を結成し、月1回執行委員会を開催してきた。人事賃金制度の見直し以降職場の人間関係が悪化している。今後は他労組をも含めて職場を良くするために取り組んでいきたい。(中野電車区・伊藤)
- ②毎月執行委員会を開催し、職場の問題点を出し合いながら取り組んできた。田町センターではルール上出来ない作業が指令、助役の指示で行われている。また、東京派出では、指令から解放テコを扱うような指示が出された。安全教育がなされているのか危惧する。組織拡大にも取り組んでいく。(東京総合車区・須貝)
- ③業務委託職場、エルダー職場は労働条件が改善されていない。組合掲示板もない。改善について駅に言っても会社が違うと言われる。駅はエルダーの募集に人が集まらないと聞く。改善努力をしてほしい。分会の再編について具体案があれば教えてほしい。(駒込駅・浜野)
- ④京浜東北線の基地再編について大混乱していると聞いているが、わが組合のこの問題に対する今後の取り組みを教えてください。(王子駅・西沢)
- ⑤組織統一を前に脱退者が出たのは残念。私も旧組織で大変失礼なことをしたが、先日ようやく謝罪できた。これからは職場で身近な労働条件改善をやっていく。地本に協力をお願いしたい。また、下十条運転区は3月に廃止予定になっているが、会社は社員の不安に答えていない。地本でも取り組みをお願いしたい。(下十条運転区・渡辺)



発言要旨



大会宣言

私たちは、本日田町交通ビルにおいて、第2回定期大会を開催した。この会社に働くすべての労働者のために、安全で働きやすい職場をつくるために奮闘しよう、相互理解と真摯な討論をもとにJR東日本労働組合を立ち上げ、この暑い夏を迎えた。

労働条件の改善はもとより、安全の確立・職場環境改善は、労働組合の使命であり、組合員の声に基づく極めて重要な課題である。仲間たちと、賃金や手当のこと、職場のこと、安全について話すことが私たちの進める運動の第一歩であることは言うまでもない。職場を基本に考え行動する私たちの運動をこれからも堂々と押し進めていこう。

安全問題は労使共通の課題として取り組んできた。しかし尊い命が失われた。傷を負った「仲間たち」もいる。「協会社だから…」「ルールを守らなかったから…」だけでは済まされない。JRに働く仲間たちそしてお客様の命と身を守るために、労使の共通課題として安全確立を目指し検証をすすめ課題を明確にし、実業務に適した改善を進めていかなければならない。

今春闘では、ベアを勝ち取ることができた。額は少ないがこの成果を確認したい。会社経営は好調である、リーマンショック以前の数字に戻りつつある。2015春闘にむけ「多くの仲間」とともに、組織強化・拡大の課題を明確にしつつ取り組むこととする。働きやすい職場環境改善は、私たちにとってより実感できる取り組みである。「感じたこと」を個々が発信し、相互に共有する課題へと高め、各級機関と連携し、具体的な改善を目指し取り組もう。業務委託の拡大や運転職場の再編・新線開業をはじめ会社は大きな多くの施策を展開している手をこまねいている時間はない、職場で発生している事象や問題を解決しないままの施策の実施は、私たちだけでなく会社にとってもマイナスにしかならない。「こんなはずじゃなかった」と後悔しないためにも、今、しなければならないこと・今、やるべきことを実践しよう。

全ての組合員が、一人ひとりの仲間思いをさせ、一つひとつの課題をクリアしながら一步一步、歩を進めて行こう。組合員が主役の労働組合を全組合員の手でつくりだそう

以上、宣言する

JR東日本労働組合
東京地方本部
第2回定期大会

場環境改善に向けた取り組みを私たちが職場から主体的に進める。2014年春闘は組合員の努力でベアを勝ち取ることが出来た。しっかりと総括し、本部指導のもと2014年度年末手当の闘い及び2015春闘に繋げていきたい。今後も、日々安全・安定輸送に取り組む組合員、社員の努力が不可欠であり私たちは要求の満額獲得に向け、全組合員はもとよりJRで働く者の力の結集を呼びかけて闘うとともに、組織強化・拡大を課題に取り組むこととする。本部は、2500名の組織目標掲げている。東京地本も138名から200名への拡大を目指している。議案書の当面する活動方針に組織強化・拡大の取り組みがあるが、組合員全体で拡大に向かって進む。拡大に当たっては、レクリエーションの呼び掛けや他労働組合員に対する世話役活動が重要である。東京地本としても、統一後、組織拡大目指して信頼される職場作りと風通しの良い風土・環境を構築することが重要である。大会終了後各分会と連携を強め組織拡大に向け積極的に取り組み、早期に分会大会を開催し機関整備に取り組んで頂きたい。

動員要請

11月7日
本部「年末手当満額獲得集会」

11月29日
東京地方本部「全体集会」

※場所未定。
決まり次第
お知らせします。

退任された役員

東京地本委員長 中村 民雄
書記長 榎 晴男
退職者エルダー 浅川 次夫

分会大会開催日程

9月25日(17時30分)
中野電車区分会

10月4日(15時30分)
東京総合車両センター

秋の行事

「仙台地方本部支援・芋煮交流会」
10月8日
山形・唐松観音前
(馬見ヶ崎川、河川敷)

東京地方本部 新役員

執行委員長 福田 高夫
執行副委員長 齊藤 良治
執行副委員長 小泉 弘明
書記長 郷 重雄
執行委員 小宮 実
執行委員 依田 匡一
執行委員 中嶋 洋司
執行委員 佐藤 充
執行委員 室岡 圭司
会計監査員 村田 勝之
会計監査員 難波 剛